opusdei.org

属人区長の手紙 (2018年2月14日)

「神に感謝しましょう。すべては神から来るものだかがれるものだかい。」属人区長はブラの記への旅行、この日の二つの配りに息づいている献身の歴の関がである。 と、そして四旬節の開始について思い起こします。

2018/02/14

イエスが、私の娘たちと息子たちを お守りくださいますように。 教会とオプス・デイの活気に再び触れることができた、ブラジルできた、ブラジルできた、ブラジルできたまだ生きとしている中、短い手紙を皆さんであり、さんの出会にはないにおったもとのはいいとました。神に感謝しましょう。神に感謝しましまっ。神にあからです。

いたように、「百パーセントの司祭」となるという夢を今一度抱いてください。

今日という日はまた、神が聖ホセマ リアに、ご自分のオプス・デイにお いて女性がいることも望まれるとい うことを見るようにさせた1930年の 記念日でもあります。私の娘たち よ、過去を振り返って、あなた方が これまで展開し、これからさらに進 展していく使徒職の広がりと、オプ ス・デイ全体におけるあなた方の推 進力と率先力による実りとを目にす るとき、自然に言葉が口をつきま す。私たちのちっぽけさを計算に入 れつつ、神はなんと素晴らしいこと を成し遂げて下さるのでしょう、 کے

最後に、今日から四旬節が始まります。この機会に教皇様が書かれた メッセージの中で、心を空っぽにし てしまい、神の喜びに気づくことや

それを伝えていくことを不可能にし てしまう多くのはかない幸福の約束 を前にして、偽預言者に警戒するよ う力強く述べられています。教皇様 は励ましてくださいます。「その場 限りの表面的なレベルにとどまらず に、心にいつまでも残るよいしるし を見分けるすべを学ばなければなり ません。それらは神がくださるもの であり、わたしたちの幸福にとって 真に価値あるものだからです。| で すから、この四旬節を始めるにあ たって考えましょう。この活動、あ の環境は私を神に連れて行くもので すか、それとも神から離すものです か。また、それらすべてをどのよう に神のところに持っていくことがで きるでしょうか。復活祭に向けての 回心の道を共に歩み始めましょう。

この時期に通常するように、数日 後、教皇様と同じ期間に、自分自身 の年の黙想会を始めます。教皇様の ために祈ることを忘れず、皆さんの 祈りで私にも同伴してください。

心からの愛情をもって皆さんを祝福 します。皆さんのパドレ、フェルナ ンド。

ローマ、2018年2月14日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkuchono-tegamii-2018-2-14/(2025/12/16)